

# ① 農林水産データ管理・活用基盤強化

【令和6年度予算概算決定額 150（150）百万円】

## <対策のポイント>

さらなるデータの活用を進めるため、①異なる種類・メーカーの機器やシステムから取得されるデータの連携実証、②農業データの川下とのデータ連携、③オープンAPI等を活用したサービス事業者の育成・機能強化を支援し、農業現場における生産性の向上や環境に配慮した農業生産の実現を目指す。

## <政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

### <事業の内容>

#### 1. オープンAPI等の整備

##### ① オープンAPI等による機器間連携実証

営農の高度化に資するよう異なる種類・メーカーの機器・システムから取得されるデータの連携実証を実施します。

##### ② 農業データ連携・共有のための環境整備

農機・機器メーカーやICTベンダー、業界団体、研究機関等が行う農業データを連携・共有するための

- ・協調データ項目の特定・拡大、データ形式の標準化
- ・データの利用権限等の取扱いルール策定

等の環境整備を支援します。

#### 2. 農業データの川下とのデータ連携実証

農業データの川下との連携による付加価値の創出や環境に配慮した取組の見える化等についてデータ連携基盤を活用した実証を実施します。

#### 3. オープンAPI等を活用したサービス事業者の育成・機能強化

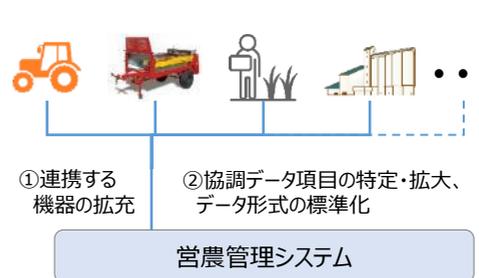
オープンAPI等を活用して、データ連携を行うことで、サービス事業者の提供サービスを向上させる取組を支援します。

## <事業の流れ>



### <事業イメージ>

#### 【オープンAPI等の整備】



#### 【農業データの川下とのデータ連携実証】 <実証の例>



#### 【オープンAPI等を活用したサービス事業者の育成・機能強化】

